

平成26年度 燕市道徳部 活動報告

部長 鱒 博文1

研究主題

道徳的実践力を育てる指導法の工夫

2 研究の概要

外部講師を招いて指導を受けるとともに、研究主題を受けた授業公開・検討を行った。



3 研究の実際

(1) 第1回部会

① 期日：6月4日（水） 小池小学校

② 内容：講義と演習 講師 県立教育センター指導主事 佐藤 裕 様

○ 講義

子どもが主体的に考えることのできる授業づくりや、関わり合いを大切にした授業づくりの必要性を、学校教育の重点と合わせて具体的に分かりやすく教えていただいた。多くの資料を用意していただき、道徳的実践力を育てる上でのポイントをご指導いただいた。

○ 演習

「雨のバス停留場で」という資料を使って、授業のねらいと中心発問を考え、グループで話し合う活動を行い、新しい考えに気付くことができた。話し合い後には、授業の中で取り入れたい発問や活動を数多く紹介していただいた。

(2) 第2回部会

① 期日：12月3日（水）吉田北小学校

② 内容：授業研究・協議会

主題名 ガマンしている人がいます

授業者 教諭 伊藤 みや



○ 授業の内容と協議

資料からガマンしている人を考える場面と、ガマンについて自分たちの学級に置き換えて考える場面で発問がなされた。協議会では、ポスターを使った導入の有効性や、電車内のガマンから学級内のガマンに向けさせたことが道徳的実践力育成につながったかどうかについてが話題となった。また、振り返りの仕方についても話し合われた。

4 成果と課題

道徳の授業では、資料を認識させ、価値を理解させることが重要である。価値を理解させたら、自分と照らし合わせて考えさせる。そこでは、①他人事にしない。②弱い自分に気付かせる。ことに留意しなくてはならない。「児童の身近な例で一般化を図る」などの日常生活とのつながりをもたせる工夫が今後の課題である。

